

# 令和4年度 せたな町介護保険事業の特徴

本町の介護保険事業について、地域包括ケア「みえる化」システムより、近隣町と比較して、本町の特徴と要因を分析実施しました。

## ○人口と世帯数

比較した町は、北渡島檜山圏域の今金町、八雲町、長万部町の3町です。

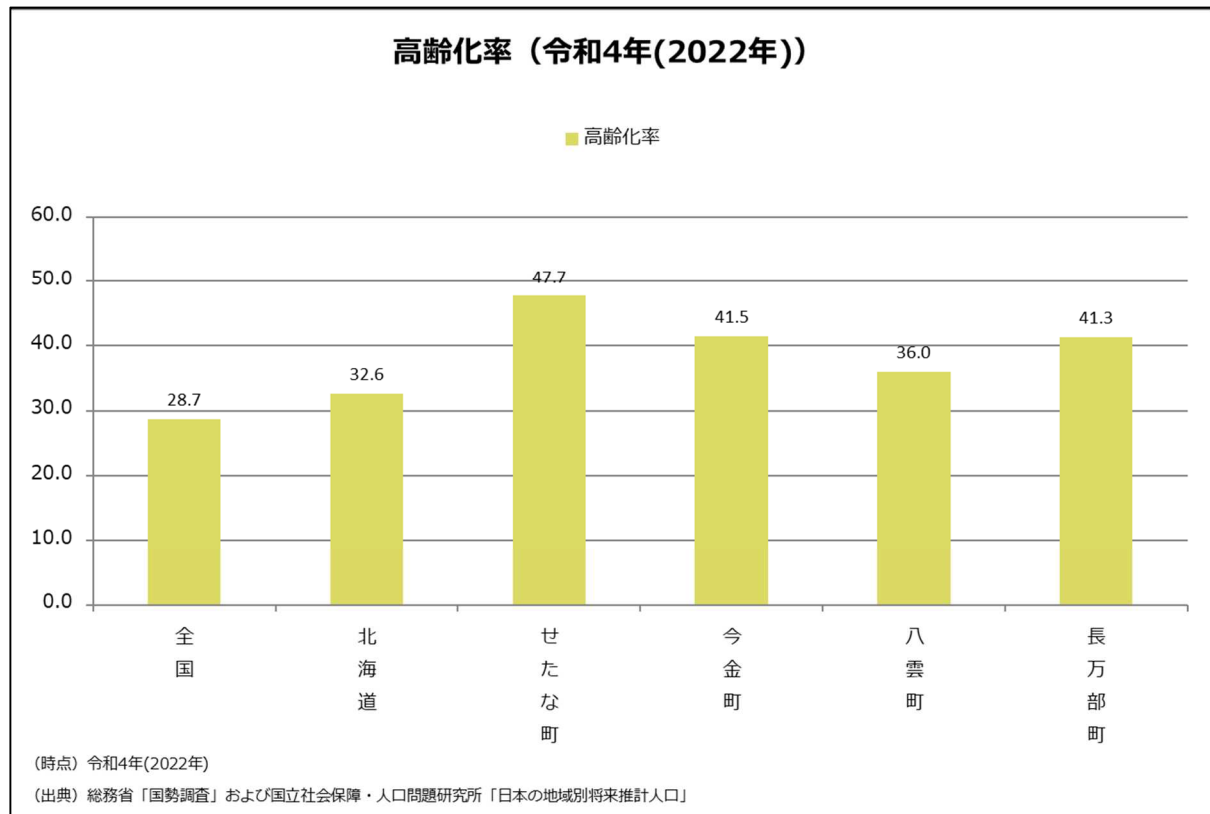
	人口（人）	世帯数	面積（km <sup>2</sup> ）
せたな町	7,298	3,987	638.68
今金町	4,894	2,467	568.25
八雲町	15,197	7,983	956.08
長万部町	4,914	2,779	310.76

※人口・世帯数は、令和4年4月1日現在

※面積は、国土地理院発表による面積（令和4年4月1日時点）

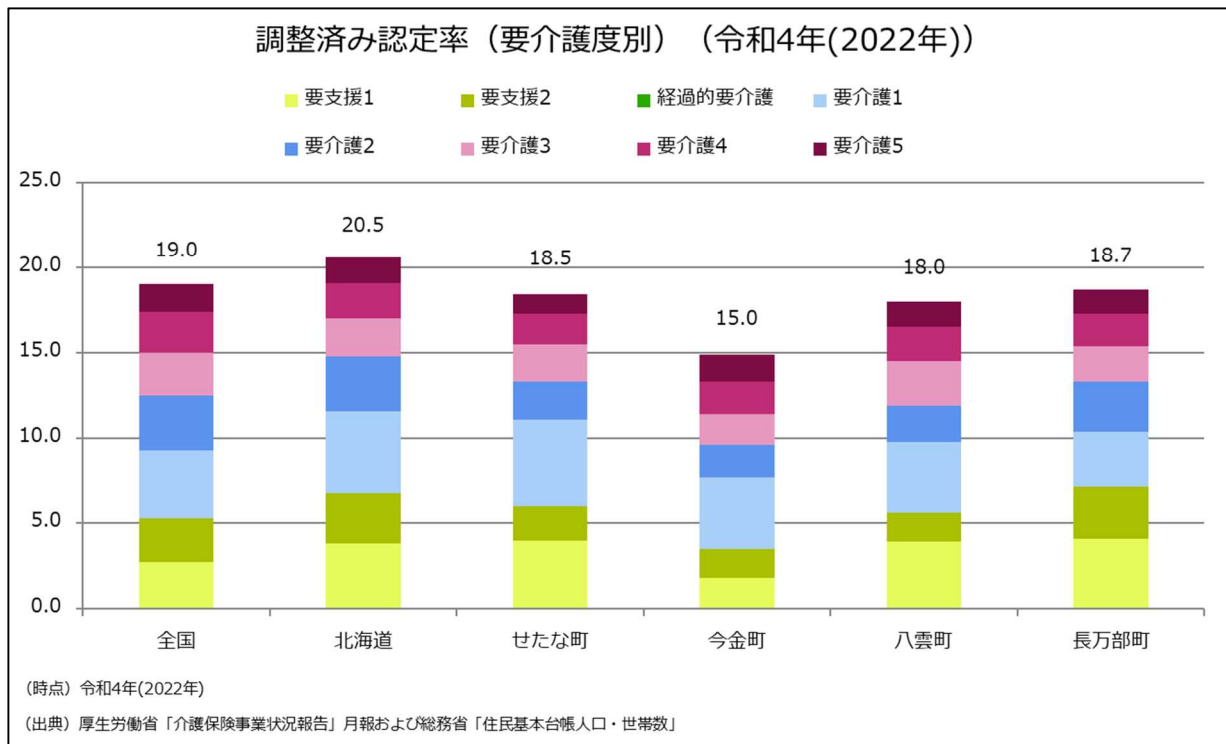
## ○高齢化率

本町の高齢化率は、全国、北海道や近隣町と比較しても47.7%と高い状況です。



○調整済認定率※1

本町の調整済認定率は、18.5%で全国、北海道よりも低いものの、近隣町のなかでは長万部町に次いで高い状況です。



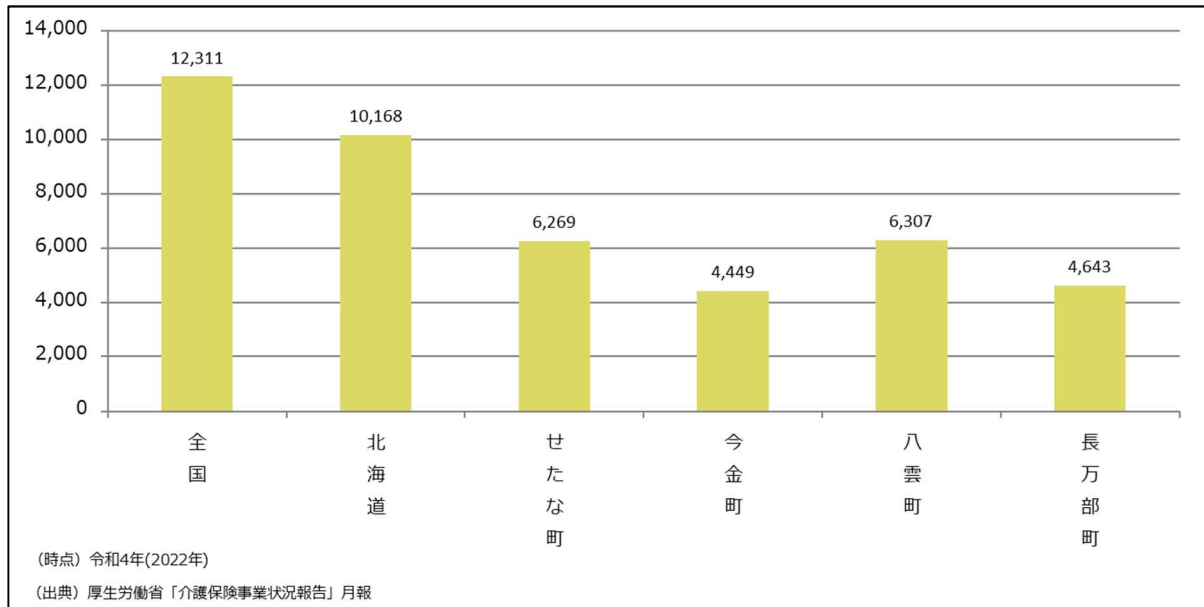
※1 調整済認定率

性別・年齢の調整を行い、同じ人口構成と仮定した要介護認定率のこと。要介護認定率に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性別と年齢構成」の影響を除外し、他保険者等との比較する際に用いられる。

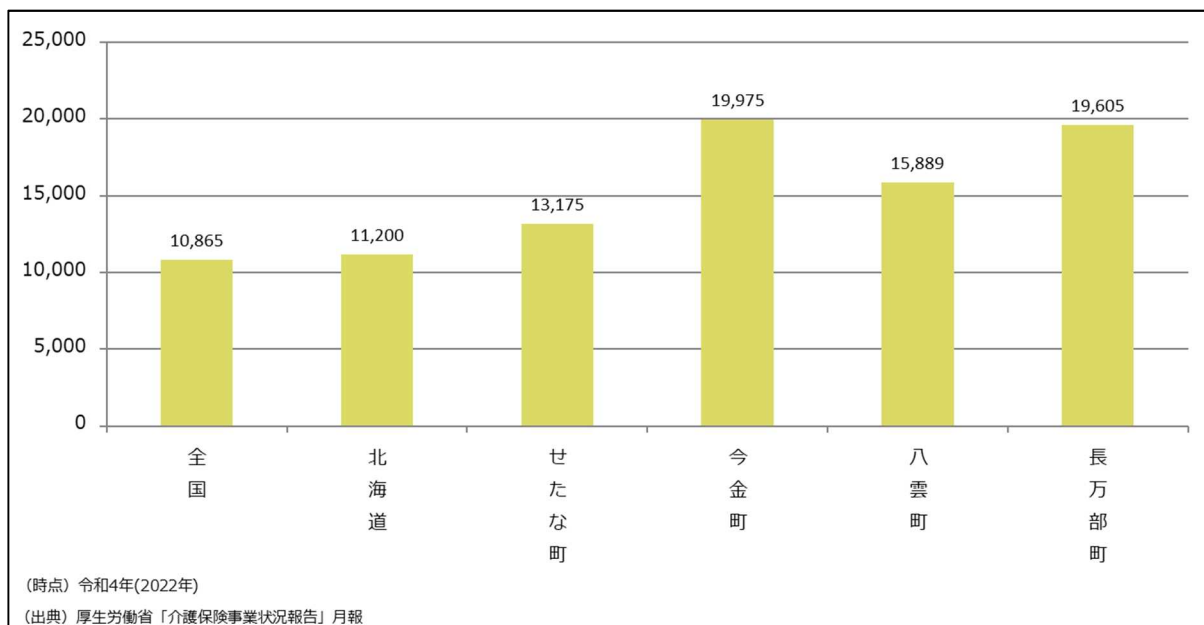
### ○第1号被保険者1人あたりの給付月額

本町の第1号被保険者1人あたりの給付月額は、在宅サービスが全国及び北海道よりも低くなっています。施設・居住系サービスは、全国及び北海道より高くなっていますが、近隣町より低い状況です。

#### ■在宅サービス

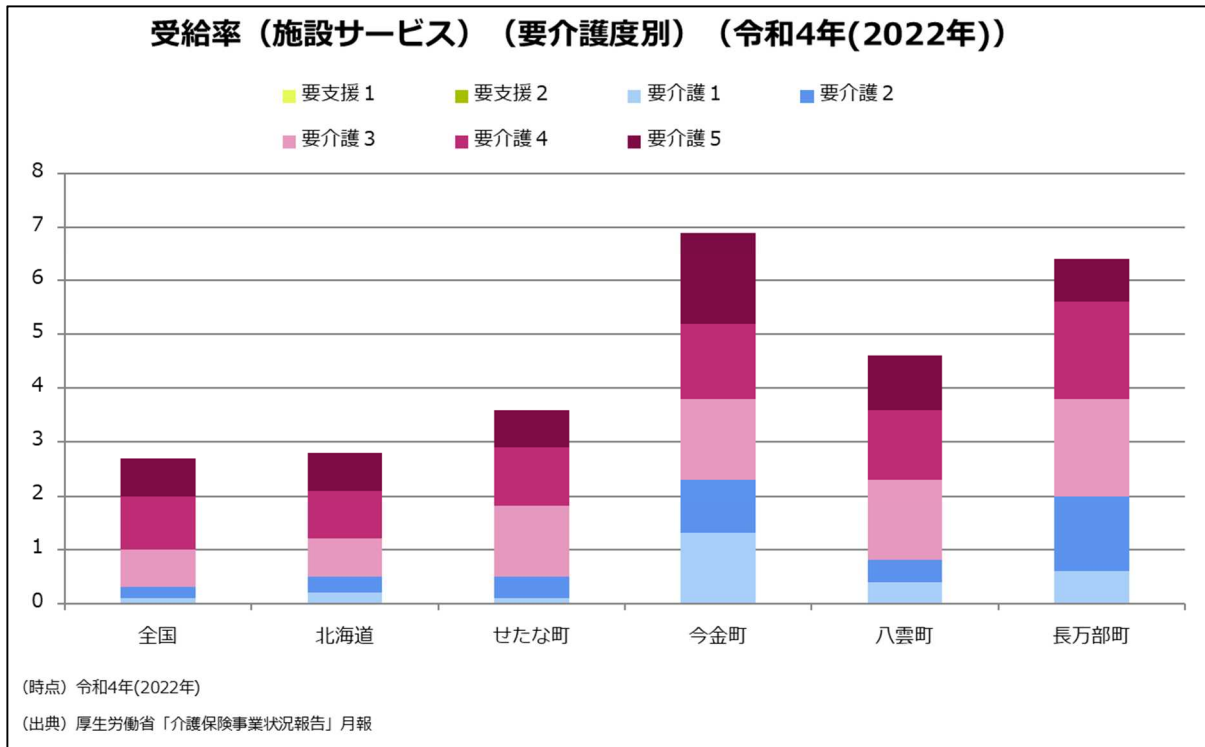


#### ■施設・居住系サービス

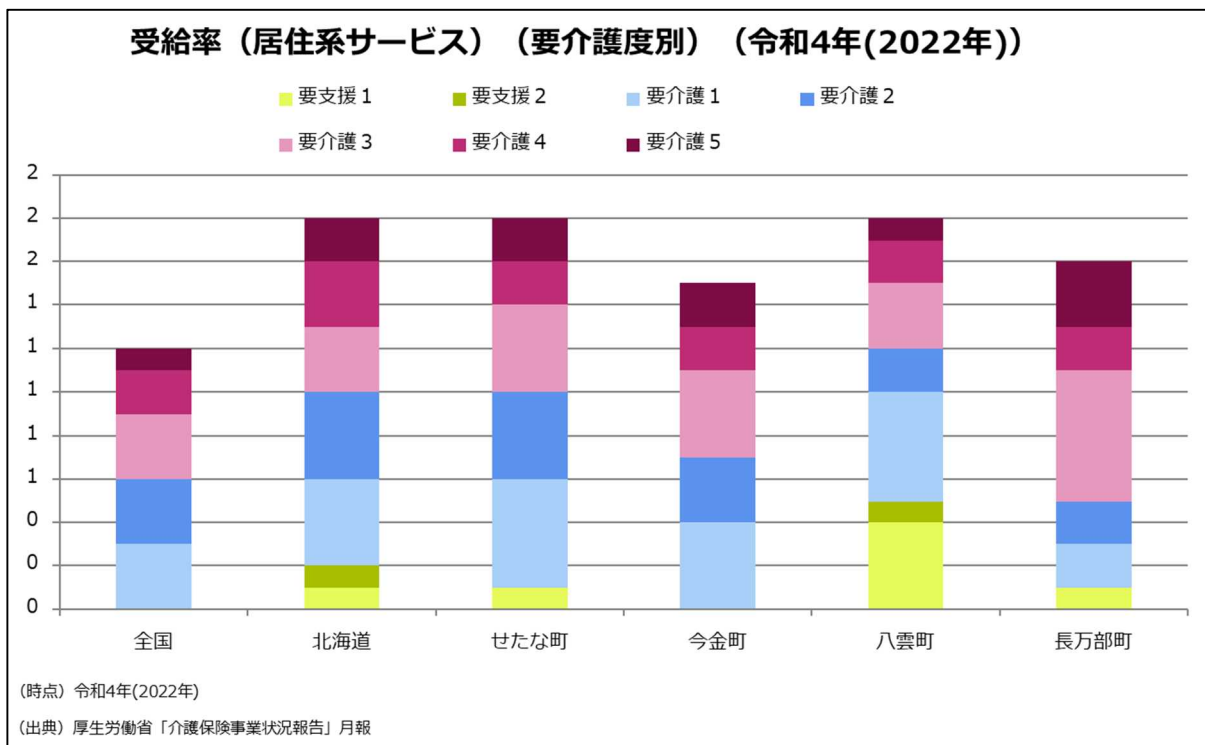


○サービス受給率（要介護度別）

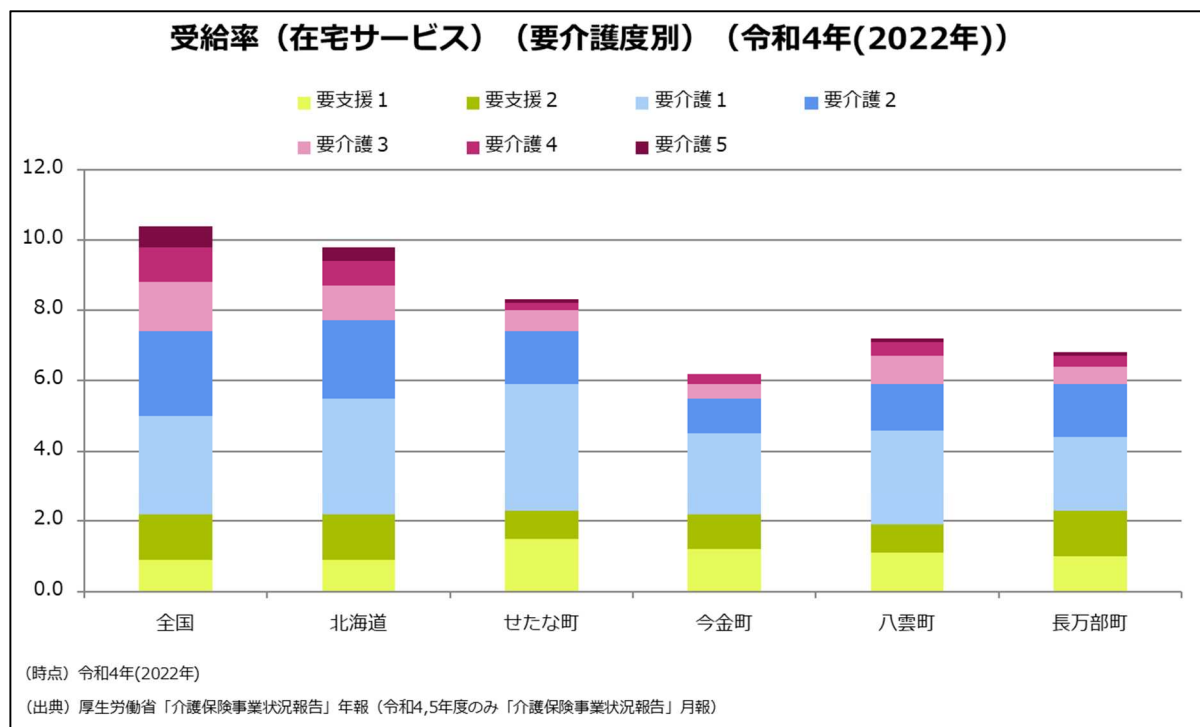
施設サービスの受給率は、全国及び北海道より高くなっていますが、近隣町より低い状況です。



居住系サービスの受給率は、全国より高くなっていますが、北海道と同水準となっています。近隣町では八雲町と同水準で高くなってる状況です。



在宅サービスの受給率は、全国及び北海道より低くなっていますが、近隣町と比較して高くなっている状況です。



## 〇まとめ

本町の特徴としては、生産年齢人口と自然減による人口減少が進んでおり、年々高齢化率が高くなっていますが、認定率は全国及び北海道より低くなっており、軽度の介護度（要介護1、要支援1・2）の割合と、在宅サービスの受給率が近隣町より高くなっています。

要因としては、高齢者の社会活動への参加や就労のほか、町の介護予防事業の推進による取り組みによる軽度の介護度（要介護1、要支援1・2）の割合が多いことで、在宅サービスの受給率が高くなっていると考えられます。

一方で、施設サービスの受給率が近隣町と比較して低くなっている状況があり、今後の施設入所者の推移を把握していく必要があると考えます。

今後は、団塊の世代が後期高齢者へ移行されることや、軽度の介護度の方が重度の介護度に移行されることが考えられることから、高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、自立支援や重度化防止などの介護予防事業の取り組みや、必要なサービスが受けられるよう進めてまいります。